

お子さんの育児でこんな困りごとはありませんか？

射水市 子ども発達相談室

1歳頃までに・・・

- あやしても顔を見たり、笑ったりしない。
- (気持ちが通じ合っている気がしない)
- 人見知りが見られない。
- 家族(主に母親)がいなくても1人で大人しく遊んでいる。

1歳6か月頃までに・・・

- 視線が合いにくい。
- 名前を呼んでも声をかけても振り向きにくい。
- 周囲への関心が薄く、1人遊びが多い。
- 言葉が遅い。(意味を理解し自分から発する言葉がない)
- 睡眠リズムが定まらない。

3歳頃までに・・・

- 落ち着きがなく、よく動きじっとしてられない。(人混みで迷子になりやすい)
- 友達と遊べない。(人への関心が薄い、マイペースな行動が多いなど)
- 数字やアルファベット、文字に執着する。
- 自分の思いが通らないとかんしゃくをおこす。
- ある動作、順序、遊びなどを繰り返したり、著しく執着したりする。
- 極端な偏食がある。
- 言葉の発達がゆっくり。(単語が増えない、文章にならない、会話になりにくい、理解力が乏しい)
- 繰り返し何度注意しても直らない。

幼児期の発達にはとても個人差があります。

自宅で静かに一人遊びしている様子と、保育園などの集団場面での様子は全く違うことがあります。

保育園や幼稚園に入園したら、担任の先生とも情報交換しつつ、お子さんの様子を見守っていきましょう。



このような特徴などがあり、心配のある場合は、本人の努力だけでは解決できない困難さ(特性)が関係していることがあります。もしかしたら、**発達に凸凹(発達障がい)**があるかもしれません。



発達障がいって何だろう??

子どもたちは一人ひとりが違った個性を持ち、学ぶスピードや興味の対象もさまざまです。得意なこと、興味のあることに違いがあるのは当然です。しかし、なかには大部分の子どもたちには普通にできることがその子にとってはとても難しく日常生活や友達との関係にとっても困っている場合があります。

★ **発達障がいは、病気ではありません。脳の働きに何らかの特異性があると考えられています。**

医学的理解では、脳(中枢神経系)の機能不全が原因と言われています。

生まれつき、もしくは、生育途中で脳の神経回路がうまく機能しないと・・・

認知・言語・社会性・運動などの発達が妨げられる場合があります。

- ご家族がお子さんとの関わり方に難しさを感じたり、周りの人との関係を調整すること等で、負担に感じる場合があるかもしれません。これは育て方やしつけ、家庭環境が原因ではありません。
- 知的な遅れを伴わないことも多いため、発達障害と気づかれずに、本人のわがままや努力不足等、誤解を受けてしまう場合があります。
- **早期に子どもの特性に気づき、適切な支援・対応を行うこと**で、お子さんの苦手な面を伸ばす事が可能となり、大きな問題なく社会生活を送れるようになります。